

地球の「いきいき」のために

環境負荷削減の取り組み

宝酒造は、酒類の製造メーカーとして商品の開発から原材料の調達、商品の生産、物流、販売に至るすべての段階で、地球環境への負荷削減に取り組んでいます。

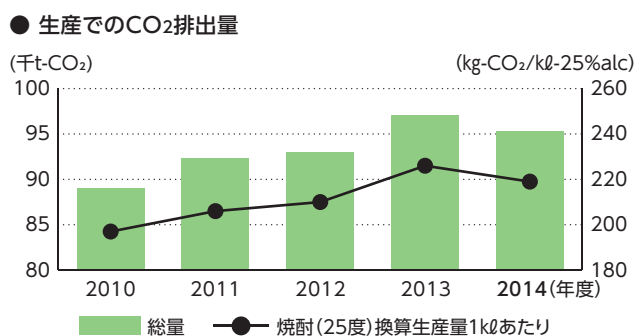
CO₂の削減

生産でのCO₂削減

アルコールの蒸留や製品の殺菌のために使う蒸気をつくる際にガスや重油を使います。また、製品を容器につめる際に電気を使用します。

宝酒造では、日々の省エネ活動やガスボイラーへの転換など省エネ設備を導入することで生産部門からのCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

2014年度は重油ボイラーの一部をガスボイラーへ転換したり(楠工場)、アルコール蒸留工程の改善などの効果で、2013年度と比較して総量、原単位とも改善しました。



〈生産でのCO₂削減の取組事例〉

- ・重油ボイラーからガスボイラーへの転換および高効率ボイラーへの更新
- ・蒸気や高温排水の廃熱の再利用
- ・コージェネレーション(熱電供給)システムの導入



マイクロガスタービンコージェネレーションシステム
発電用ガスタービンから排出される高温の排気によって蒸気を作ることで燃料を効率的に利用しています。

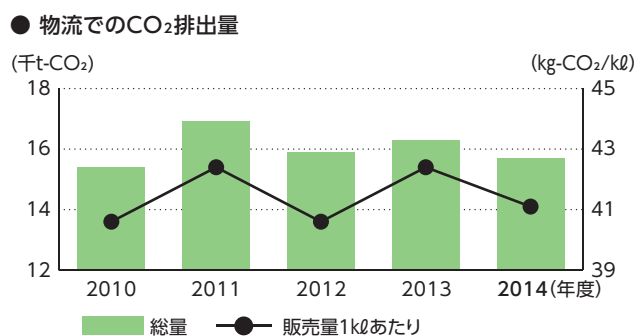
物流でのCO₂削減

工場からトラックや鉄道、船舶等で商品を運ぶのに伴いCO₂が発生します。

宝酒造では物流の効率化や省エネ運転、モーダルシフト※の推進により、物流部門からのCO₂の排出量の削減に取り組んでいます。

2014年度は消費地生産による東西間の輸送の削減に努めたことで、2013年度と比較して総量、原単位とも改善しました。

※モーダルシフト:トラックから環境負荷の小さい鉄道・海運利用へと貨物輸送を転換することをいいます。



〈物流でのCO₂削減の取組事例〉

- ・フェリー、鉄道等へのモーダルシフト※
- ・消費地生産による東西間の転送の削減
- ・物流子会社による高積載トラックの開発



専用タンカーでのアルコール輸送
島原工場で蒸留したアルコールを神戸まで専用タンカーで運んでいます。

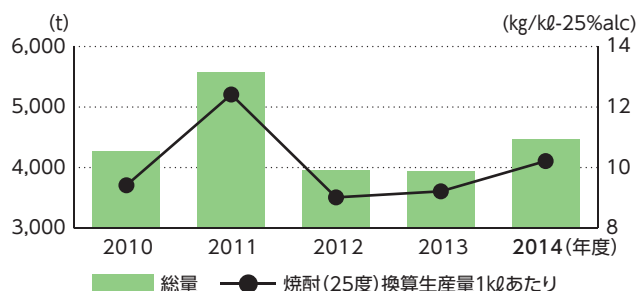
廃棄物の削減

工場では焼酎粕などの副産物や排水汚泥、原料や容器の運搬資材の廃棄物が発生します。

そのため焼酎粕の飼料化やかつお粕の肥料化など食品系副産物の有効利用により工場廃棄物排出量の削減に取り組んでいます。

2014年度は飼料原料として販売していた焼酎粕の一部が需要低迷による減少で産業廃棄物となったため、2013年度と比較して総量、原単位とも増加しました。

● 生産での廃棄物排出量



〈廃棄物削減の取組事例〉

- ・焼酎粕飼料化設備の導入
- ・排水汚泥の減容化

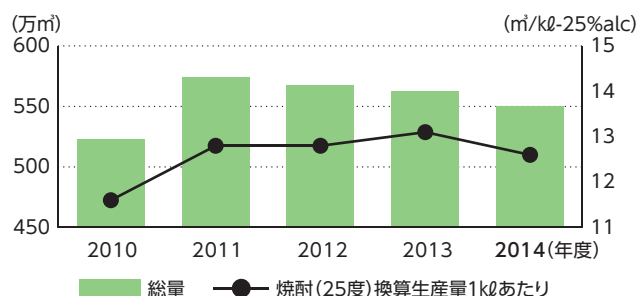
用水使用量の削減

お酒の仕込水として水を使用するほか、装置や容器の洗浄および冷却などにも水を使います。

生産工程での水の再利用や節水により用水の削減に取り組んでいます。

2014年度は生産設備の洗浄方法の改善などを進め、2013年度と比較して総量、原単位とも改善しました。

● 生産での用水使用量



空容器問題への取り組み

空容器の発生回避に向けて

一般家庭から出るごみの5割強(容積比)は、容器包装が占めています。

このため、宝酒造ではこの空容器の問題に対処するため、リデュース(Reduce:減量化)、リユース(Reuse:再使用)、リサイクル(Recycle:再資源化)の3Rにリフューズ(Refuse:発生回避)を加えた4Rの取り組みを進めています。

リフューズとは、余分なものを買わずに必要な物だけを買うことにより、ごみを減らす活動です。「はかり売り」は、容器を購入せず必要な分だけ中身を買うという意味でリフューズにあたります。

☑ G:環境に配慮した容器・包装

☑ 2:720mlリターナブルびんの推移

焼酎のはかり売りの展開

宝酒造独自の活動として、焼酎のはかり売りを展開しています。

お客様は家庭にあるペットボトルなどの空容器を販売店に持参し、宝酒造は1klや200lの専用タンクで焼酎を工場から販売店に直送します。販売店ではその容器にお客様が必要な分だけ詰めて購入します。

現在は全国で約160店舗にご協力いただき、1998年の開始以来2015年3月までに、2.7lペットボトル換算で約792万本、段ボール約198万枚を節約することができました。



環境配慮型商品の開発

宝酒造では、「環境配慮型商品の開発」を継続的に進めています。ISO14001の目標にも掲げて商品改良や開発を行っており、2014年度はジュレのお酒のパウチパック採用や業務用調味料のコンテナでの販売など計12件の環境配慮型商品の開発や改良を行いました。

☑ 3:環境に配慮した商品開発のための指針

☑ 4:グリーン調達・4Rガイドライン